

# カリキュラム・テキストの 考え方について

平成29年8月31日  
東京都総務局総合防災部

# 1.カリキュラムの考え方

◆ カリキュラムは、育成体系の全体像を示すもの

基礎編

発災時の状況に応じて自分の身に起こりうることを整理

基礎知識（地域）

基礎知識（職場）

基礎知識（外出先）

知識に基づく行動  
（地域）

知識に基づく行動  
（職場）

知識に基づく行動  
（外出先）

ウーマン  
セミナー

応用編

応用知識（地域）

応用知識（職場）

適切な対応（地域）

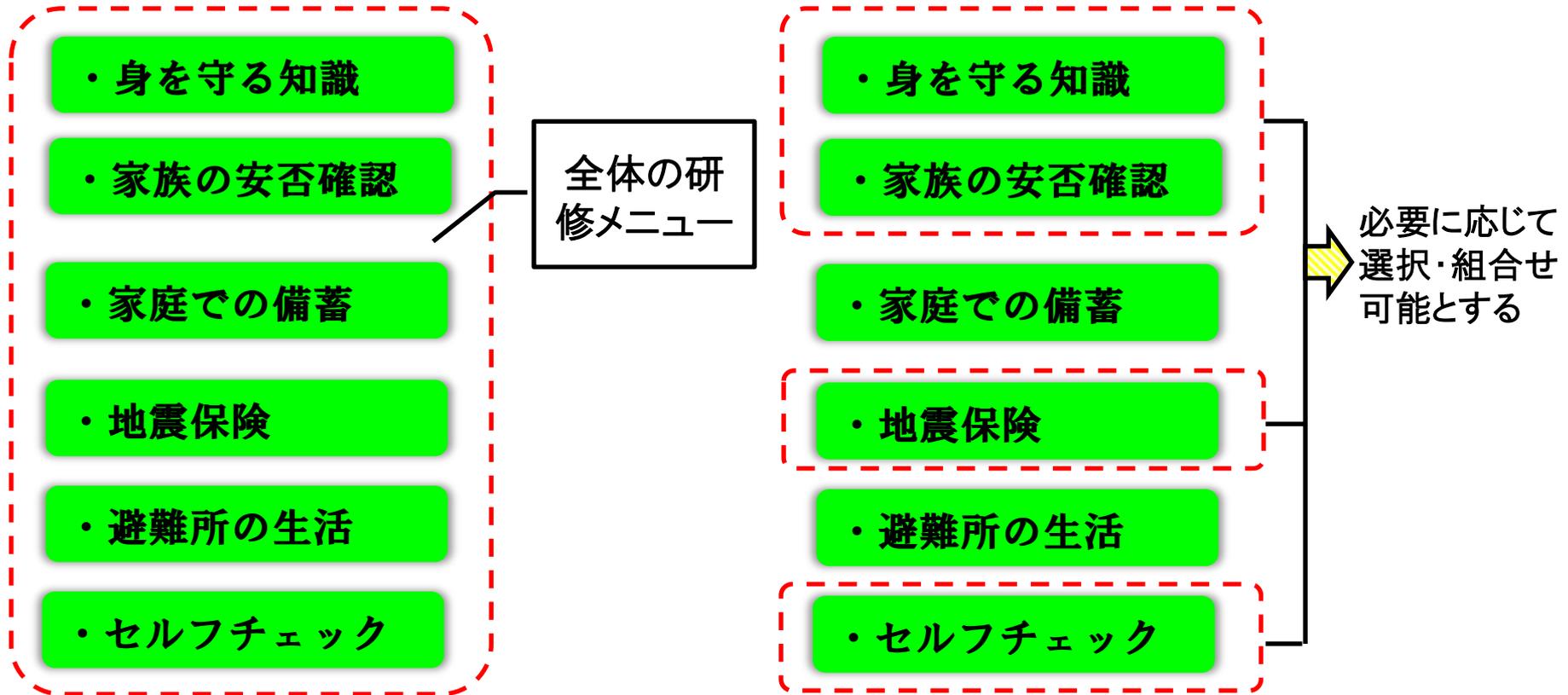
適切な対応（職場）

コミュニケーション方法

防災コーディネーター  
育成研修会

## 2.カリキュラムの考え方②

- ◆ カリキュラムに掲載する内容は、実際の研修メニューに応じて、切り出し・組み合わせができるようにする  
(イメージ)



- ◆ 必須項目とシーンや受講者の必要に応じた選択項目に分類

# 3. テキストの考え方①

◆ テキストは、人材育成事業において実際に使うもの  
(イメージ)

## 基礎編：知識を体系的に掲載

◆外出先編◆

◆職場編◆

◆地域編◆

◆共通メニュー◆

### 1 シーン別シミュレーション

- (1) 地域で被災
- (2) 職場で被災
- (3) 外出先で被災

### 2 事前の備え

- (1) 家族との連絡手段を確認する

### 3 生活再建の知識

- (1) 地震保険に入る
- (2) 行政の手続

## 応用編：実践的なケースを掲載

◆職場編◆

◆地域編◆

<シーン:避難所>

- ・ペット同伴で避難した人がいる
  - ・避難所の衛生状態は悪い
- ⇒どのように対応するか

<シーン:避難所>

- ・ペット同伴で避難した人がいる
  - ・実は盲導犬であった
- ⇒どのように対応するか

## 4.テキストの考え方②

◆ **テキストは、受講者が使いやすい形で作成**

**<案1：シーンごとに分冊方式>**

- **基礎編を地域・職場・外出先の3種類作成**
- **応用編を地域・職場の2種類作成**

**<案2：合冊形式>**

- **基礎編、応用編で伝えるべきことをすべて1冊のテキストに掲載**
- **テキストの章立てとして、地域・職場・外出先を用意**